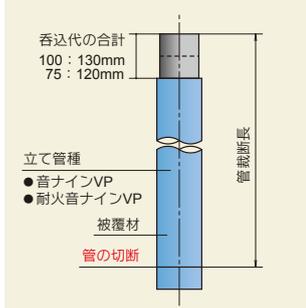


### モエナインS排水システム施工手順



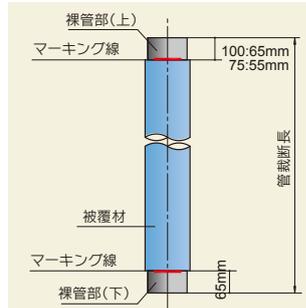
モエナインS排水システムの立て管には、音ナインVP、耐火音ナインVP以外は使用できません。

#### ① 立て管の裁断



立て管(音ナインVP又は耐火音ナインVP)の被覆材を、一方の端面から上下の呑込代の合計分(呼び径100:130mm, 75:120mm)を片側にスライドさせ、裸管側の管端から管裁断長の位置で被覆材ごと管を切断する。

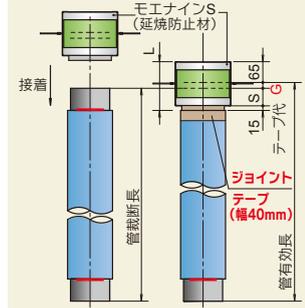
#### ② 呑込代のマーキング



裸管部(上)に呑込代(呼び径100:65mm, 75:55mm)をマーキングする。裸管部(下)に呑込代(呼び径100, 75とも:65mm)をマーキングする。

呑込代の内訳  
呼び径100:(50+15)mm  
呼び径75:(40+15)mm  
15mmはテープ代です

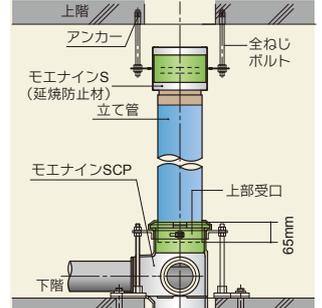
#### ③ 延焼防止材の接着



モエナインSのソケット内面と裸管部(上)の外周面に接着剤を塗ってから、マーキング線まで挿入接着する。  
**管有効長=管裁断長+G**  
ソケットと立て管との接続部には、**ジョイントテープ(幅40mm)**で1周以上覆う。

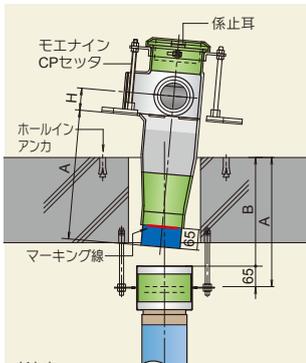
呼び	G	S	L
100	15	50	145
80	10	40	130

#### ④ 立て管の配管



下階のモエナインSCPの上部受口に、立て管の裸管部(下)のマーキング線が隠れるまで挿入する。立て管を直立させ芯出しを行った後、立て管上部部に取り付けた延焼防止材を、スラブ下面に設けたアンカーから全ねじボルトで係止する。

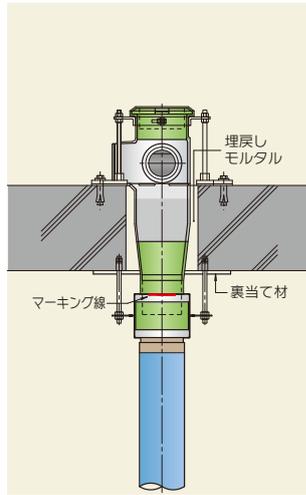
#### ⑤ モエナインSの位置決め



MH.CP60S 継手被覆なし				M.CP60S 継手被覆あり			
呼び	A	B	H	呼び	A	B	H
100	379	314	60	100	374	309	65
80	322	257	51.5	80	317	252	56.5

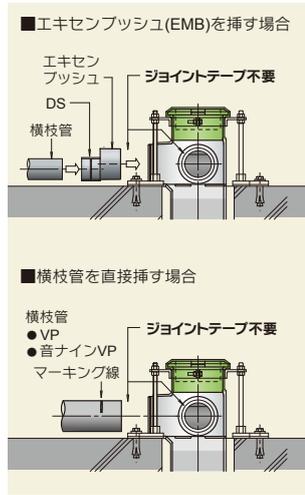
横枝管の芯高さHが上表の寸法になるように、モエナインCPセッタの高さを調節し、継手上部の係止耳に当接する位置に取り付ける。スラブ下のモエナインSに、本体直管部端面から65mmの位置に引いたマーキング線が隠れるまで挿入する。

#### ⑥ スラブ開口の埋戻し



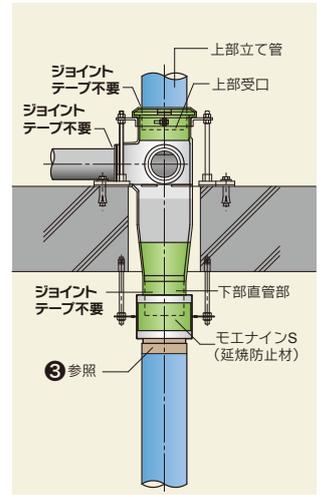
スラブ開口の下側から裏当て材を当てて、モエナインSCPと開口部との隙間にモルタルを充填する。裏当て材はモルタルが硬化後取り外す。  
モルタルは、セメント:砂=1:3(容積比)

#### ⑦ 横枝管の接続



横枝管受口にVP、音ナインVP、エキセンブッシュを接続できる。横枝管には予めマーキング線(横枝管端面から58mm)を記し、その位置まで挿入する。  
エキセンブッシュの箱に記載の「施工手順」および「施工上のご注意」を守って施工して下さい。

#### ⑧ ジョイントテープ巻き



継手の上部受口と上部立て管との接続部、継手の下部直管部とモエナインSとの接続部、横枝管受口と横枝管およびエキセンブッシュの接続部にはジョイントテープは不要【モエナインS限定】



#### 使用上のご注意

- 継手下部直管部およびモエナインSのパッキン部の汚れを取り除き、双方にシール性滑剤を均一に塗ってから挿入接続して下さい。
- 各接続部は漏れのないように、確実に施工して下さい。
- モエナインSCPに挿入するパイプは端部を必ず面取りし、マーキングにより挿入深さを確認して下さい。
- 延焼防止材は分解しないでください。 ● 延焼防止材は、落下等により変形したものは使用しないでください。

発売元



本社 〒454-0027 名古屋市中川区広川町5丁目1番地  
TEL.052-361-6551(代) FAX.052-361-6556  
IP電話 050-3535-8295(営業)

首都圏 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-17朝日ビル4階  
コアセンター TEL.050-3732-9412(IP電話)  
MCC FAX.03-5652-6355 E-mail mcc@kojima-core.co.jp



本社 〒501-3923 岐阜県関市新迫間12番地  
TEL.0575-24-4798 FAX.0575-24-4176